



高 東京矢高会 ニュース

矢高卒業生

会東京支部

総会が開催

される。

5月25日東京・五反田「ゆうぼう」と「紅梅の間」で矢上高校卒業生会東京支部第38回総会が開催されました。神田恵介支部長(13期のご挨拶の後、当日邑南町から遠路ご出席頂いた三宅美明校長(24期)渡辺生紀卒業生会会長(4期)から、矢上高校の近況とご挨拶を頂きました。

青春挑戦若さ

矢上高校卒業生会東京支部長

神田恵介(13期 井原出身)

青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方をいう。歳を重ねただけで人は老いぬ。理想を失った時初めて老いぬ。人は信念と若く

疑念と若く

人は自信と若く

恐怖と若く

人は希望と若く

失望と若く

いま頭を高く上げ希望の波をどめえる限り、たとえ何歳であらうと若さは若い。

いわみ温泉 霧の湯

田舎に帰ったら香木の森に泊まり霧の湯の温泉に入るのを楽しみにしています。

ずいぶん前ですがその売店で板版に書いたものを売っていました。

発行日 平成25年10月15日
号数 第8号
発行人 矢上高校卒業生会東京支部
編集人 神田恵介 三宅良二
事務局 千葉市若葉区若松町
九〇二二二二一五〇三

これが何で「いわみ温泉霧の湯」なのかはあまり詮索しないこととし、サミエルマンの青春という詩はいつの時代でも人を若返らせ、元気づけてくれるものだと感じ、我が家のお手洗いの正面に置いていつも読んでいます。

現役時代は「創意、活力、新たな挑戦」をモットーに頑張っていました。

今年春の叙勲で瑞宝章をいただきそれなりの歳になりましたが、気持ちはまだまだ若く、ゴルフやノルディックウォーキングを楽しんでいます。

矢上高校の後輩達も野球で甲子園ということにならなかつたようですが、スイーツ甲子園では全国のベストエイトに選ばれ、先日東京のお台場で全国決勝大会があつたようです。何事も挑戦です。みなさんも何かの希望を掲げ挑戦を続けてみてください。そうすることにより「たとえ何歳

愛郷無限

(なんとなえとこよのお)

大羽 登(6期)

昨今巷にてグローバルの用語がおどっているが、その意味するは他国的関係他インターナショナルは一国との関係を指す。しかしこの二語は混合に使われているようだ。

グローバルは私の解釈だが、古里(ドレス)に回帰するのではないかと思う。正に大河は一滴の雫より始まるが如し。

我々がグローバル世界で活躍するには今や普通語になった英語を使いこなせないと戦えない。しかし英語はあくまでもツールでしかない。

英語人間に求められるのは教養(リベラルアーツ)が伴っていないと高次元のビジネスは難しい。

異なった環境に適応し、相手との異質性を認めるコモンセンスの上に柔軟な心身とタフさが求められる。

相手を理解し共感するには、日本人としてのアイデンティティー(自己意識)も大切な要素。

このアイデンティティーを創造せし種は、幼少期―少年期を過ごした古里にあり五感で感じた驚き、まぶしさは大人になってもみみずみずしく思い起させせる。

今もつて、万葉集―平家物語―源氏物語を読んで心動かされるのは古里での学舎の日々の恵みにある。

古里は母なる大地

(三浦筆子先生―三上鎮博先生に教わりし頃を)

この母なる大地に生を受けた同窓の集いに中村輝夫氏は語る(ここにおもつのは元はみんな親類)、この短い聲咳こそ正にリベラルアーツ誠に誠に耳順。
「ほんにいつもええ話しをしちやんさる」

私の友人S君、グローバル人間で今も世界各地で活躍している。S君は自己紹介の後、必ず言う事がある。古里の偉人(田中正造大正2年71歳死去 彼曰く世界で初めて環境問題を世に問い、警笛を鳴らした人物。

S君は正造の生き様をひとくさり語り、ビジネスの話をする。相手はS君の真摯の言葉に信用度は高まり、国際ビジネスはよりスムーズに運ぶというこれぞ任運騰騰(にんうんとうとう)

翻つて古里(邑南町)

「まあなんとなんとたまげたけえ」折しも村井康彦著(出雲と大和)を読みし時、38〜40ページに出雲屋について記されているではないか。邑南町の便利マップを広げる。この周辺に神社とお寺があちこちにあった。志津の岩屋は現在の瑞穂と安芸高田から近い所に鎮座している。志津の岩屋について奈良時代の役人(真

人)万葉集に歌を収めている。著の中で大汝(おおなむち)、少彦名のいましむ。

志津の岩屋幾代経らしむ。

大國主神や少彦名神がすんでおられた志津の岩屋はその時からどの位の年代を経ていたのだろうか。志津の岩屋の前の説明板によると、おそらく縄文時代より巨石信仰が始まり、いつの頃からか出雲族の来住が始まり、この地を拠点として、国干経宮がなされたと云々。

この伝をしてひよとしたり(古代にあつて、邑南町の岩屋が政治の発信地ではなかつたのではと浪漫をかきたてもする。この地は鉄の産地であることも出雲族が来訪せしもうなすける。

私の仮説、邑智郡の語源は大汝(おおなむち)に起因しているかもとの想像を逞しくする。

嗚呼、帰りにん、邑南岩屋の里

(なんとなえとこよのお)

矢上高が全国切符

高校生が創作したケーキの出来栄を競う全国高校スイーツ選手権大会(スイーツ甲子園)の中国四国地区予選が岡山県倉敷市で行われ、矢上高校産業技術科2年の岸兵吾君、久保田謙吾君、石川麗奈さんの3人の創った石見神楽の演目「八岐大蛇」を表現した「デコレーション」のユニークさが高く評価され見事優勝し全国大会の切符を手に入れました。山陰両県からの出場ははじめて。

大会のテーマ「世界に発信する日本」を受けて発案されたケーキは、大蛇のぐるみにみだた「シュー生地」、中身のムースには大蛇が酒を飲まされて退治された逸話にちなみ、地元酒蔵の酒粕を使うなど工夫を凝らしました。

昨年の大会に初出場した先輩たちも続けと、七月の書類審査を見事通過。地元のレストランのバイシエ川久保陽子さんから放課後などに指導を受け、五校による実際にケーキを作る地区予選に参加。作業を分担しチームワーク良く調理し、二時間半の制限時間内に見事、考案した石見神楽を題材にしたケーキを完成させました。

アイデアに加え調理の手際の良さも評価され、9月15日お台場フジテレビ会場で行われた全国大会出場を果たしました。当日の様子が放送されます。楽しみにしてください。

放送日 10月19日

(土) 午後7時

8時55分BSフジ

「第6回見印」

スイーツ甲子園

本部卒業生会

三宅正隆 新会長

7月13日(この村しまねにおいて平成25年度の卒業生会総会が行われました。総会では役員改選により、永年矢上高校に尽力いただいた渡辺生紀会長から10期の三宅正隆新会長に交代されました。総会の後、石橋良治邑南町長、土居達也邑南町教育長、澤田隆之矢上高校在り方検討委員座長、三宅美明校長から矢上高校の現状と今後の展望について、それぞれ話がありました。懇親会には、民謡歌手の三宅良二(35期)が駆けつけ民謡と津軽三味線を披露しました。新役員は以下(敬称略)の通りです。

会長は三宅正隆(10期)、副会長に日野原哲夫(18期)石塚貞子(20期)土居達也(22期)、顧問に天川藤信(1期)柘植三義(2期)渡辺生紀(4期)、事務局長は沖幹雄(29期)、幹事に山田泉(22期)大賀定(35期)が選出されました。

相撲甚句 渡辺生紀先生へ

ハアー天下泰平五穀も成就よ
ハアー我らの人生旅にて
長い道のり歩むこと
高校時代をふりかえりや
今では遠い過去となる
山道坂道七曲り

共に喜び共に泣く
ここに永く矢上高校と
共に歩まれ数十年
晴れて本日総会
永年務めた卒業生会会長を
十期 三宅正隆先生に
バトンタッチされたは誰あろう
腕に覚えのある人間で
筋金の通った人間で
思いやりのあるその方は
渡辺生紀先生その人よ
多くの卒業生集まりて
今日の懇親会も賑やかに
寿ぎ舞うや鶴と亀
永い人生末広と
いついつ迄もの健康を
挙げてお祈り致しますよ

(はあどすこい どすこい)
作 三宅良二

平成二十五年度のお礼

今年度年会費のお願い

本支部の経費は、皆様方からの会費・寄付金で運営されております。二十四年度会費をお納め頂きました皆様、ありがとうございます。大勢の方に協力頂きました。一口千円として何口でもお納め頂くことができますようになりました。払込用紙にて、お納め

頂ければ幸いです。ゆうちょ銀行からの振込の場合は手数料がかかります。本年度の会費をお納め下さいますようお願いいたします。

会費 一口千円 何口でも

口座番号〇〇一四〇一〇一七二七七
金融機関からの振込用 口座番号
ゆうちょ銀行〇一九(ゼロイチキユウ)店
当座 〇〇七二二七七
口座名 矢上高校卒業生会 東京支部

平成二十五年度会費納入芳名

- 十口一万円 神田恵介(13期)山藤喜六(3期)
- 五口五千元 三次学(29期)中村輝夫(4期)三宅弘文(12期)中岡庸修(15期)渡利勇(4期)
- 四口四千元 山本立身(15期)
- 三口三千元 楠利文(5期)石川義之(5期)服部豊(15期)酒井富雄(22期)渡邊正己(14期)滝厚江(8期)服部俊之(15期)日高勇(19期)太田周枝(5期)中山正雄(21期)野田明弘(瑞穂14期)
- 二口二千元 宮田勝(14期)花本保博(10期)藤本秀子(21期)佐々木チズ子(6期)高橋廣(13期)中村延枝(6期)渡辺誠(18期)後藤勝子(6期)本田博(10期)三宅雅寛(23期)高山恒子(15期)山本明子(17期)隅川和子(6期)福岡幸雄(13期)岡部輝生(21期)中森勝三(13期)荒瀬淳(6期)三宅和子(17期)下瀬忠枝(5期)森脇好恵(16期)木村信恵(18期)中野恭子(28期)山田裕三(39期)三宅良二(35期)
- 一口千円 日高文三(瑞穂1期)伊賀美穂(21期)一谷邦男(9期)稲田聿(8期)加藤節子(13期)濱田逸子(14期)小林千賀(13期)斉藤均(19期)森脇清(17期)日高早苗(12期)沖征広(14期)沖美知江(18期)植原稔子(10期)日野勇夫(瑞穂7期)椿美津枝(13期)久長瑞枝(5期)藤橋百合恵(31期)野坂正(5期)坂根節男(13期)神田信子(23期)森岡武(14期)竹内常年(瑞穂18期)三宅伸二(29期)伊東順子(23期)佐藤直子(26)日野修治(17期)宇津本由紀子(8期)前田喜信(8期)植田豊(13期)倉持桂子(14期)日高正行(10期)岡本博仁(15期)島村不二子(19期)柳瀬百合子(8期)山口積(19期)吉里輝子(13期)日野原紀世子(瑞穂13期)日野原育生(8期)江藤洋子(13期)山本信子(13期)洲浜豊和(12期)枝久保美千恵(10期)門屋邦子(12期)上田明臣(17期)椿満男(8期)岩岡忠夫(15期)月森敏雄(32期)敬称略。

矢高会

忘年会のご案内

日時12月7日 土曜日

午後一時から

会場レストラン 一億

港区六本木4-4-5

電話03-3300-5191

都営大江戸線・東京メトロ日比谷線

の六本木駅から徒歩2分

徒歩5分

早いもので、今年もあと二月を切りました。今年も忘年会を開催することになりました。大勢のご参加をお待ちしております。

矢上の方言

はあ 忘れんさったろう。矢上弁、たまにやあ思い出しちゃんさいよ。前号の問題「しんならん」。好意的にも、そうでない意味でも、幅広い意味を持つこの「しんならん」。褒め言葉にもなり、そうでない場合にも使われる。

この「しんならん」は標準語にやな

らう。ピッタリの意味の言葉は他にやあみあたらんで。

正解はいい意味では「よくできる人賢い人」「頭の回転の早い人」「抜け目ない」「やり手」「機転が利く」。そうでない意味では「ずる賢い」「悪賢い」「一筋縄ではいかない」。

思い出しんさったかいな。都会での生活が長いけえ、忘れんさったんどうろう。子供の頃にや「しんならんのお」と言われた方もおりんさう。

- 百二十八名の方からご返信を頂きました。正解者は高橋廣(13期) 藤橋百合恵(21期) 渡辺誠(18期) 荒瀬淳(6期) 岩岡忠夫(15期) 三宅雅寛(23期) 藤本秀子(21期) 渡利勇(4期) 加藤節子(13期) 山本明子(17期) 前田喜信(8期) 三次学(20期) 三宅綾子(18期) 酒井富雄(22期) 神田信子(23期) 枝久保美千恵(10期) 三宅美明(24期) 渡邊生紀(4期) 中村輝夫(4期) 大羽登(6期) 花本保博(10期) 本田博(10期) 神田恵介(13期) 服部豊(15期) 山本立身(15期) 伊東順子(23期) 服部眞二(17期) 宮田勝(14期) 一谷邦男(9期) 佐々木チズ子(6期) 中野恭子(28期) 倉持桂子(14期) 友澤桃枝(22期) 徳永静江(16期) 高山恒子(15期) 上田伸次(35期) 佐藤直子(26期) 日野勇夫(瑞穂7期) 友澤寛(20期) 沖征広(14期) 沖美知江(18期) 日高正行(10期) 荒木雄介(14期) 竹内常年(瑞穂18期) 隅川和子(6期) 南口一代(6期) 渡辺

正巳(14期) 小林千賀(13期)
(正解者48名順不同)

正解者の中から抽選で5名の方に記念品をあげようと思っております。抽選は来年の総会の時にやるけえ、正解しんさった方は必ず出席しちゃんさい。楽しみにしとちやんさい。

さあ、今回の矢上弁の問題は「きつぽ」。韓国の料理にあるようなこの「きつぽ」。わかりんさったかいのお。誰でも体にやあ、一つぐらい子供の時にこさえたのがあろう。思い出しちゃんさい。よお思い出しんさらんかったら、矢上の親戚や友達に電話して聞きんさったもええで。

編集後記

7月に矢上に帰らせて頂きました。この村しまねから見る矢上の風景は、日本昔話に出てくるような景色。ぐるりは山に囲まれ、盆地の中の小高い小山の周りに、田圃の風景。改めていいところだと思えました。

13日の矢上高校卒業生会の懇親会では民謡と津軽三味線を披露させて頂きました。今年の東京支部の総会の折、「帰つて唄うてくれんか」と声をかけて頂き喜んで帰ってきました。

相撲甚句が好きで、当日のために作ったもの披露させて頂きました。どんなのがいいかと思いましたが、当日は永年お世話になった、渡辺正紀先生が会長を勇退されるので、渡辺先生のために

作ってみました。

校訓も盛り込もうとしたところ、永年農業の指導をされてきたこと、永年矢上高校のために尽力されてきたこと、そして、私のようなものにも優しく接して頂き気遣って頂いたこと。

校訓の目指す方、そのものであることに気づきました。

喜んで頂ければ幸いです。

また、8月のお盆休みには、以前矢高三コースでもご紹介しました、十七期の服部眞二先輩(夫婦で開店された、地産地消カフェ「美美由(みみゆう)」)に伺いました。先輩は裏の畑で作業中でお会いできませんでしたが、おいしいカレーを頂き、ゆったりとした時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

今号にも原稿をお送り頂き有難うございました。この場をお借りして御礼申し上げます。次回発行は来年3月の予定です。皆様からの原稿をお待ちしております。テーマは自由。身近なことから、専門的なこと、その節にはご協力の程どうぞ宜しく願います。十分注意しておりますが誤字脱字や、見づらいところもあろうかと思えます。どうぞお許し下さい。お気づきの点がありましたら何なりと申し付け下さい。

いよいよ秋本番。紅葉の季節です。季節の変わりめどうぞご自愛下さい。

三宅 良(35期 矢上出身)